

学生向けイベント(高校生～大学院生)※高校生は保護者も参加可



申込み受付中!

申込期限
12/1(月)
▼
1/26(月)
まで

海に関する仕事紹介セミナー in 海洋都市横浜

主催：海洋都市横浜うみ協議会／横浜市

日本郵船グループ



五洋建設（株）



(国研) 水産研究・教育機構



関東地方整備局



「東洋・りんかい日産・大本JVより提供」



海洋都市横浜うみ協議会



三菱重工業（株）



関東運輸局

海から広がる、未来の選択肢

第1部 13:00～13:30 講演

・「海洋産業の全体像を考える」についての講演を行います。

講師：中原 裕幸 氏※

13:30～16:00 企業・団体紹介

・企業・団体による仕事紹介を行います。

第2部 16:10～17:00 うみカフェ

・コーヒーを飲みながら、企業・団体と交流を行います。



中原 裕幸



TECH HUB YOKOHAMA

日時

令和8年1月31日(土)
13:00～17:00

うみカフェで企業・団体とトーク!
海のキャリアを知るチャンス!



コーヒー飲みながら気軽にご相談を!

場所

TECH HUB YOKOHAMA

住所：横浜市西区みなとみらい 2-2-1

定員

40名程度

※申込者数が多い場合は抽選となります。

特典

参加者には企業提供のノベルティグッズ
をプレゼント！

現場見学会にもご参加いただけます！

参加無料！



上記の写真は、参加特典の一例です。

申込については下記URLから(ページ上部のQRコードからも申込可能)

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/4fa3f19f-fef5-4376-be83-24009f1a56a5/start>

本セミナーへの参加の有無は、採用試験の合否には一切関係ありません。

・お申し込みされた方には、開催1週間前を目安に参加の可否・詳細を別途御連絡いたします。

・お問い合わせ: 海洋都市横浜うみ協議会事務局 ss-kaiyotoshi@city.yokohama.lg.jp

※セミナー参加団体・現場見学会の詳細等は裏面を参照してください。

〈ご紹介する企業・団体について〉

(国研)水産研究・教育機構

水産研究・教育機構（FRA）は、我が国唯一の水産に関する総合的な研究開発・教育機関です。水産業の持続的な発展と成長産業化を目標に掲げ、水産資源研究所、水産技術研究所、開発調査センター、水産大学校の4つの組織を柱に、水産資源の評価・管理、海洋環境変動、増養殖技術の確立、水産物の利用、港湾や船舶などの水産工学等、水産に関するあらゆる分野を網羅する研究開発、そして未来の水産業を担う人材の育成を行っています。



国土交通省関東地方整備局

貿易立国である我が国は、国民生活の安定や経済の健全な発展のために、先進的で信頼性の高い物流・人流のインフラ整備、貿易のネットワーク拠点の整備を進める必要があります。

国土交通省関東地方整備局では、我が国の国際競争力を高めるために、関東の港湾、海岸及び空港の整備等を進めるとともに、安全で安心かつ豊かでうるおいのある港づくりを目指しています。



「若狭・りんかい日産・大本J.Vより提供」

国土交通省関東運輸局

我が国の貿易の99.6%を海上輸送が占め、国内貨物輸送の約4割、石油製品等の産業基礎物質では約8割を海上輸送に依存しており、我が国の海運は産業や暮らしを支える基盤となっています。海運を支えるのは様々な用途の船舶、船舶の貨物の積卸しなどですが、船舶にたずさわる職業では船舶を製造する「造船業」及び船舶を運航する「船員」、船舶と陸をつなぐ職業では「港湾運送業」があります。関東運輸局ではこれらの職業を紹介します。



ジャパン マリンユナイテッド(株)

当社は、国内第2位、世界第10位の建造量を誇る造船メーカーです。海外貿易の実に99%を海上輸送に依存する島国日本にとって、船は暮らしの生命線です。当社では人やモノを運ぶ商船、日本の安全を守る艦艇・海上保安庁船、脱炭素社会の実現に向け期待の大きい洋上風力発電設備（浮体）やその設置船等の多種多様な船を、世界トップレベルの技術力で建造しています。造船のトップランナーとして、将来技術の開発にも挑戦し続けています。



横浜港埠頭(株)

当社は、前身の京浜外貿埠頭公団や横浜港埠頭公社の時代より、50年以上にわたり、国際物流拠点「横浜港」の管理運営という公共性の高い事業を担っています。総合港湾である横浜港は、コンテナ貨物をはじめ自動車やLNGなど様々な貨物を取り扱っています。そこで、当社は主に自動車ターミナル・在来貨物ターミナルの管理運営やロジスティクスパークの整備推進を通して、日本の物流の大動脈である横浜港の更なる発展と国際競争力強化に取り組んでいます。



日本郵船グループ

京浜ドック

船舶建造及び修繕業、舶用部品の販売、公害防止装置、環境衛生装置の製造及び販売。1968年の創立以来、世界初の商用アンモニア燃料タグボート「魁」建造など環境対応や革新的な技術開発に取り組んでおります。

【日本フィールド&マリンエンジニアリング】

電力・機械・計装及び冷熱機器の設置・運転調整・メンテナンスを生業としている技術者集団です。事業フィールドは、国内外・海陸へと展開。また、関連部品の販売や一部舶用機器の製造も行っています。



三菱重工業(株)

三菱重工グループは、時代に先駆けた新しい「ものづくり」に挑戦することで、世界の人々の暮らしを支える様々な製品を提供し、社会の発展に貢献しています。1891年設立の「横浜船渠」の流れをくむ横浜製作所では、海上自衛隊や諸外国の艦船をはじめ、官公庁船、フェリー、客船の修理、検査、改造工事等の事業および海自艦船の維持整備事業を展開しており、日本の安全保障および安心・安全で快適な市民生活を送るために必要なインフラ維持の一翼を担っています。



五洋建設(株)

五洋建設は、土木・建築・海外の3つの部門それが活躍するゼネコンです。特に、港や空港、海底トンネル等の海上土木、フェリーターミナルや流通施設等の臨海部の施設建設に強みを持っています。海外でもシンガポールをはじめとする東南アジアを中心に、大規模インフラ、大型商業施設や病院の建設などで大きな注目を集めています。確かな品質を支える高い技術力を培う環境が整っており、海外勤務のチャンスも大きい企業です。



海洋産業の全体像を考える

海洋産業には、造船・港湾・海運・漁業などの在来型産業のほか、新規分野として、海底油田は我が国周辺では少ないものの、燃える氷で知られるメタンハイドレートが太平洋側、日本海側ともに豊富に存在する他、200海里排他的経済水域（EEZ）に熱水鉱床やマンガン団塊、ニアース泥等の海底鉱物資源のポテンシャルが高い。海洋開拓も大いに期待されており、海洋産業は今後とも発展し続ける裾野の広い有望産業です。

<海洋産業の概念図>



現場見学会 1/26仮申込期限

※当日雨天予報の場合、日程変更の可能性があります。

2/16 13:30
～
(月) 16:00

三菱重工業株式会社
人数 5名 概要

横浜製作所：
会社紹介、現場見学、質疑応答

2/17 14:00
～
(火) 16:00

日本郵船グループ(京浜ドック)
人数 20名 概要

子安工場：会社紹介、
現場見学、質疑応答

※申込人数が多い場合は抽選となります。
※現場見学会への正式なお申込みは、セミナー当日に受け付けます。セミナーのお申込み時に、現場見学会への参加希望の有無を確認させていただきます。



過去の現場見学会